

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

1

January  
2025

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

# やまがた

謹賀新年



第29期経営指針をつくる会 発表会



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2024年度スローガン

自社の存在意義を問い直し、  
地域と共に豊かな未来へ

令和7年

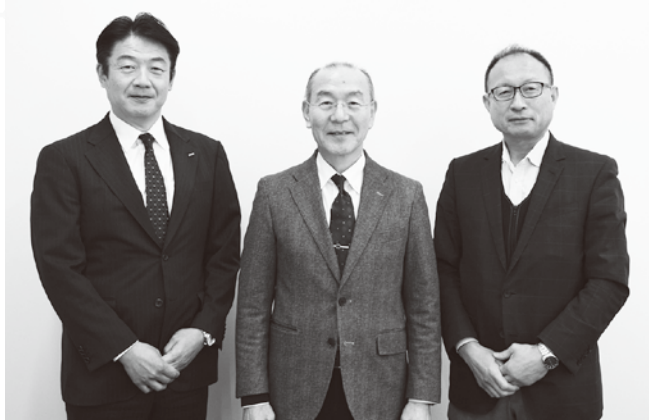
# 新年のご挨拶

山形県中小企業家同友会

代表理事 川合 勝芳

代表理事 菅原 茂秋

代表理事 後藤 智樹



2025年、新年あけましておめでとうございます。

本年も、中小企業家同友会の代表理事として、会員の皆様とともに歩いていけることを心より嬉しく思います。そして、改めて皆様のご尽力に感謝申し上げます。

昨年は、国内外の経済環境が急激に変化する中で、私たち中小企業も多くの試練に直面しました。マイナス金利の解除による利上げ、物価高、エネルギー費の上昇、グローバルなサプライチェーンの変動など、さまざまな問題に対応しながら、私たちは日々の経営に取り組んでまいりました。しかし、これらの課題に対して、単なる困難として受け入れるのではなく、変革を促すチャンスと捉え、柔軟に対応していくことが必要であると感じています。

また、急速なデジタル化やAI技術の進展、そしてサステナビリティへの対応も、今後の中小企業にとって欠かせないテーマです。これらの変化に対し、私たちは一步先を見据えた経営戦略を持ち、積極的に新しい技術を導入し、環境負荷を減らしつつ事業の成長を実現していかなければなりません。それにより、地域経済や社会全体の発展に貢献し、次世代に誇れる企業を育てていきましょう。

私たち中小企業家同友会は、企業経営を単なる利益追求の手段にとどまらず、社会貢献を重視し、地域社会と共に成長することを目指しています。経済活動を通じて、私たちの地域が活気に満ち、皆が誇りを持てる社会の実現を目指していきます。さらに、会員同士が互いに学び合い、助け合う精神を深めながら、一丸となって前進していきましょう。

本年、山形同友会は40周年を迎えます。会員の皆様とともに、実践的な経営指針を共有し合い、課題解決に向けた具体的な活動を展開していきます。どんなに小さな挑戦でも、一歩ずつ積み重ねていくことが、大きな成果を生み出す原動力となります。私たちが挑戦し続ける限り、必ず道は開けます。

最後に、皆様にとって2025年が充実した一年となり、会社が更なる発展を遂げることを心より願っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 進むべき方向を明確に、全社一丸体制を目指して



12月14日、TISカンファレンスセンターにおいて、第29期経営指針をつくる会発表会が開催され、会場には6名の修了生と、30名の修了生が集まりました。修了生が見守る中、半年間自問自答を繰り返し、悩み抜いて作成した経営指針書を発表しました。



冒頭、挨拶に立った小川経営指針委員長は、『労使見解』や『目的と精神』を読み合わせながら、経営指針をつくる会の趣旨を理解いただいた上で進めてきました。自問自答を繰り返し、自社を見つめ直し、苦悩しながらここまでた

どり着いたと思います。この半年間の学びは、今後会社経営をしていく上で大きな分岐点になると思います。第二創業という気持ちをもって、経営指針を作成し、実践していくことで様々な学びが出てきます。経営指針書の更新をしていくと、中身も濃くなり、課題も出てきます。課題があるのは会社が動いている証拠です。課題という壁に向かっていくのが経営者として大事だと思います。つくって終わりではありません。更新して、ブラッシュアップして、実践する繰り返しを大事にしてください」と述べました。

今年の経営指針をつくる会は、6月1日に開講。「ミッション」「ビジョン」「バリュー」を明確にした経営理念の早期確立を目指し、カリキュラムを見直した上でスタートしました。

第1講では、これまでの自社経営を振り返ると同時に、同友会らしい経営指針の確立について学びあいました。第2講では、「理念とビジョン」をテーマに(株)山田製作所 代表取締役会長 山田茂氏(大阪同友会)より講義いただき、社員と共にビジョンを描き、実践していく大切さを掴みました。第3講では(株)セルヴァン 代表取締役 東海林武氏より、「方針と戦略」をテーマとした講義がありました。外部環境の分析をした上で戦略を考える必要性を捉え、社員と共にワクワク



するような自社の10年後の姿を描きました。第4講では、(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山亨氏よりご講義いただき、投資と回収の環を大きくしていく必要性を掴みました。第5講では(株)フロッツ 常務取締役 五十嵐久仁子氏より「組織」についてご講義いただき、自社の組織を見直すと同時に、方針、戦略を実行に移していくための組織づくりについて考えあいました。

全5回の講義とプレ発表をとおして、「何のための経営か」「自社固有の役割は何か」「自社のあるべき姿」について深掘りを行いました。受講生は自社と自分に矢を向けて考え、そして社員と向き合い続けてきました。想いを紡ぎ、言葉にかえる過程は、明確な答えを出せず苦しい時間でもありましたが、悩み抜いて作成した経営指針書を発表する受講生の表情は晴れやかで、よい会社に、そしてよい経営者という強い想いがあふれていました。



最後に、後藤代表理事が挨拶に立ち、「皆さん、課程の修了おめでとうございます。皆さんの顔には、『やったな』という表情が見られます。事業定義の再定義が叫ばれている世の中ですので、尚のこと1年に1度更新していただければと思います。その

ためには3年間きちんと関わり、愚直に実践して事例を積み上げていくことが必要です。地域のことも大事ですが、まずは自社をよくしていくことが大事です。自社がよくなると、自ずと地域に対してできることが出てきます。まずは自社をよくすることに努めてください。来年の干支は、乙巳(きのとみ)で改良・改革の年です。色々な抵抗にあっても、改良・改革を成し遂げる年になってほしい」とエールを送りました。

受講生は、全社一丸体制を目指し、作成した経営指針書の実践という新たなスタートを切りました。

## 適正な価格転嫁の実現に向けて



12月11日、TISカンファレンスルームにて公正取引委員会事務総局東北事務所との懇談会を開催し、公正取引委員会の3名を含む24名が参加しました。

初めに双方を代表して、公正取引委員会事務総局 白石文男東北事務所長から「皆様の事業活動における価格転嫁の状況やお困りごと等をお聞かせいただきたい」、山形同友会の菅原茂秋代表理事から「公正取引委員会の活動への理解を深めていただくとともに、要望、意見などお話しいただきたい」と挨拶がありました。

続いて、白石所長から公正取引委員会の活動状況について、「中小企業に不当に不利益を与える行為の取り締まり強化」をメインとして説明があり、優越的地位の濫用行為



取り締まり、下請法運用、適切な価格転嫁の実現に向けた取り組み、特定受託事業者（フリーランス等）にかかる取引の適正化等の取り組みを紹介しました。そして、昨年作成された「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の概要を説明するとともに、各種相談、届け出、情報提供の窓口を紹介し、「下請法違反行為等を受けている場合はぜひご連絡を。申告はハードルが高い、違反行為に当たるか確信が持てないという場合も積極的にご利用いただきたい」と呼びかけました。

その後、意見交換の時間が設けられ、自社の事例に関する質疑も交えた活発な意見交換が行われました。

### 青年部戦略MG研修

## ゲーム形式で経営と会計を学ぶ



青年部会で毎年開催している企画事業の一環で、11月22日と12月13日の2日間にわたって「戦略MG研修」を開催し、経営者、幹部社員、若手社員など多様な立場の9名が参加しました。

青年部では9、10月に全2講の数値セミナーとして財務諸表の基本や管理会計を学んできましたが、この「戦略MG研修」はその学びを実践的に生かす場となります。

2講とも東海林副部会長の挨拶ののち、講師を務める(株)アルファ・コム 設楽 昂志氏の進行で実施。参加者がそれぞれ架空の企業を設立し、ゲーム形式で経営を行いました。

経営計画策定、市場変化への対応、投資と回収など、現実同様の経営判断を行いながら期末の決算で経営を振り返



ることで、経営者は自社経営への応用、社員は経営者視点を学ぶ機会となり、参加者からは「利益を生むこと、付加価値を出すことの難しさを感じた」「設備投資～回収までの流れ、費用対効果の考えに触れられた」「経営者の判断が自身の仕事とつながっている感覚が得られたと思う」などの感想が寄せられました。

今年度の青年部会は、第二創業、イノベーションを学ぶ例会、実践的会計思考を学ぶセミナー等の活動を展開しており、今後も2月に青年部例会、3月に山形支部との合同例会を予定するなど、若手経営者、後継者、リーダーが学び合う場づくりに取り組んでいます。

# 2025新春交流会のお知らせ

2025. **1.18** (土) 受付開始 13:30  
開 会 14:00

会 場

**天童温泉滝の湯ホテル**

天童市鎌田本町1丁目1-30 TEL 023-654-2211

参加費

第1部:3,000円 第2部:10,000円

記念講演

## どげんしたと？ 聴きだす力でよかろうもん

～社員の声を、聴いて活かして、共に成長しよう～

(有)Miyamaコーポレーションは、女性が少ない物流業界にあって、女性ドライバー比率2割と突出した数字を誇ります。会社を守りたいと決意したことから、降籙氏の経営者としての歩みが始まりました。経営の柱は、「私たちはすべての人々にあん・しん・かんを運び続けます」という経営理念。まず取り組んだのは、社員が安心して働く環境をつくるため、社員一人一人の声を「聴く」こと。「どげんしたと？」と聴くことから、よい環境づくりは始まりました。一番要望の多かった家族との時間を増やす取り組みを行う中で、立場や年齢の違う社員同士が互いに協力し合う社風が生まれ、この会社で働きたいという声が社内外から聞こえるようになりました。また、社員の声から生まれた新規事業は利益を生み出すまでに成長しています。社員の声を聴き、働きやすい環境づくりに取り組む経営実践から、共に成長する企業づくりを考えあいます。

第1部 セレモニー:14:00~14:25  
講 演:14:25~15:40  
グループ討論:15:55~17:45

第2部 懇 親 会:18:00~19:30



講師 有限会社Miyamaコーポレーション  
代表取締役

**降籙美香氏**

(福岡同友会・福友愛支部)

- 会社設立:2004年 ■社員数:95名
- 資本金:1,000万円
- 事業内容:  
一般貨物運送業務・軽物軽運送事業・  
特別積合せ運送事業等
- 所在地:  
福岡県糟屋郡宇美町貫船4丁目1224番地1

## 2025新春交流会 実行委員長挨拶



トヨタライン(株)  
代表取締役  
齋藤 和彦氏

この度、2025年新春交流会、実行委員長を仰せつかりました、さくらんぼ支部の齋藤和彦と申します。何分初めての大役ですので、皆様よろしくお願いたします。

さて今回の新春交流会は、「初」の天童市開催、「初」の土曜日開催、さくらんぼ支部主体の新春交流会も「初」と初春らしく初が目白押しです。

2025年初の全県行事になります新春交流会、キーワードは「聴きだす力」です。「聞く」ではなく「聴く」、しかも「聴きだす」です。今回、講演していただくのは、福岡同友会・福友愛支部会員である(有)Miyamaコーポレーション 代表取締役 降籙美香さんです。

元小学校教諭だった降籙社長の話は、一言でいうと人情味があります。そして会話をしたくなります。降籙社長の講演から、聴く力を養い、社員が安心して働くことができる会社にしていくためには何をすべきか考えあいましょう。

是非、初笑いならぬ初学びはこの新春交流会で！ご参加お待ちしております！

# 第8回理事会報告

◆日時:2024年12月11日(水)午後4時00分~午後5時50分 ◆会場:TISカンファレンスルーム ◆議長:阿部副代表理事  
◆出席者:(敬称略)川合、菅原、後藤(智)、阿部、小川、佐藤、庄司、伊藤、大江、長谷川、玉津、笹林、東海林、志田、後藤(康)、中川、武内、高橋、白鳥、本多、小寺、平形、佐藤(奈)、事務局矢作、芳賀、青木、上遠野

## ■開会挨拶

菅原代表理事より「公正取引委員会との懇談会では支援策の説明をいただき、各自でも価格転嫁は取り組むべき課題と感じた。昨今の情勢から山形の景況感悪化傾向にあり、同友会運動の必要性を実感している。組織委員会では増強活動について、取り組みをより具体的に必要があるのではないかという議論があったので共有していきたい」と挨拶がありました。

## ■学習会

書籍「同友会運動の発展のために」の「同友会運動とは」の読み合わせを行い、感想・意見を交流しました。

## ■報告事項

- 1)第8回人を生かす経営全国交流会11/14~15(長崎)2名  
小川副代表理事より「参加して、四委員会全ての内容を網羅できる会社をつくるべきで、採用・教育・経営指針・障がい者問題の四つをしっかりと学ぶことが大事だと思った。二年後は奈良で開催されるので、この深い学びを共有するため、多くの皆さんと行きたい」と報告がありました。
- 2)2024年度11月月次報告  
矢作事務局長より報告がありました。
- 3)2024年度11月月次決算報告  
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 3名入会 2名退会 495名

## ■討議事項

### 議題1:500名達成に向けての取り組みについて

菅原代表理事より、組織委員会の報告として、各組織からの11月の報告に続いて、今年度目標517名に対し、22名のギャップがあることから、目標達成の取り組みとして、経営研究集会のゲスト参加者のフォロー、リストを増やす取り組みなどについて話し合った後、今月の広報委員会、2月のDX学習会、3月の国の中小企業支援制度の学習会、1月の委員会合同例会の準備状況について、報告がありました。

### 同友会を知る会の予定

日	時	会場	歴史と理念	体験報告
12月19日(木)	14:00	TISカンファレンスルームC	後藤代表理事	大江藤之
1月21日(火)	15:00	同友会事務局	菅原代表理事	中川 健

### 議題2:第21回経営研究集会のまとめ

後藤理事が「参加呼びかけに協力いただき、参加目標を達成することができた」と御礼を述べた後、まとめ案と収支について報告を行い、承認されました。

### 議題3:2025新春交流会について

武内理事が、参加目標など開催要項の説明をした後、現在の参加申し込み状況を報告の上、確認を行い、「新春交流会のPRポイントをまとめた文書を活用しながら、各支部の増強活動に利用していただきたい」と呼びかけがありました。

### 議題4:山形支部よりの検討議題について

- 1)支部活動費の支出について  
高橋理事より「同友会活動で移動する際の経費など、支部予算から支出するという意見が支部幹事会であったので検討いただきました

い」との意見があり、「何のための活動なのか」「自主性」「公平性」「基準づくり」の点から討議しました。今回出された意見は支部に持ち帰り、また「同友会運動の発展のために」を活用した学習会を支部でも開催しながら、継続して討議することになりました。

### 2)やまがたの願い夜市in歌懸2025の承認について

伊藤理事より「やまがたの願い夜市in歌懸2025」について説明があった後、検討を行い継続審議することになりました。

## 議題5:委員会・部会より

### 1)経営指針委員会より

小川副代表理事より、11・12月が企業変革支援プログラムVer.2のe.doyu登録強化・普及月間であり、現在26名が年度登録しているという報告と、目標に向けて活用と登録をするよう呼びかけがありました。

### 2)2025年度東北青年経営者フォーラム開催について

東海林理事より、2026年2月6日(金)に山形国際ホテルを会場として開催することが提案され、承認されました。

## ■その他

### 1)今後の予定について

- ・12月12日(木)~13日(金)全国事務局長会議(東京)
- ・12月14日(土)経営指針をつくる会発表会  
(TISカンファレンスセンター)13:00~
- ・12月20日(金)経営姿勢確立セミナー第2講  
(TISカンファレンスセンター)15:00~
- ・12月20日(金)北海道・東北ブロック事務局長研修交流会(仙台)
- ・1月10日(金)~11日(土)中同協第3回新春幹事会(東京)
- ・1月11日(土)北海道・東北ブロック代表者会議(東京)
- ・1月16日(木)~17日(金)中同協・経営労働委員会(東京)
- ・1月18日(土)2025新春交流会(滝の湯ホテル)
- ・1月24日(金)委員会合同例会  
(TISカンファレンスセンター)14:00~
- ・1月27日(月)経営姿勢確立セミナー第3講  
(TISカンファレンスセンター)15:00~
- ・2月6日(木)~7日(金)第55回中小企業問題全国研究集会(愛媛)
- ・2月13日(火)中同協・共同求人委員会(東京)
- ・2月27日(木)中同協・社員教育委員会(東京)

### 2)今後の理事会日程について

第9回常任理事会	1月6日(月)16:00	第9回理事会	1月8日(水)15:00
第10回常任理事会	2月5日(水)16:00	第10回理事会	2月13日(木)15:00
第11回常任理事会	3月5日(水)16:00	第11回理事会	3月12日(水)15:00
第12回常任理事会	4月2日(水)16:00	第12回理事会	4月9日(水)15:00

## ■閉会挨拶

後藤代表理事より「今回山形支部からいろいろな提案があったことは、一生懸命増強活動をしているからと理解している。増強活動をしながら、同友会運動についても一緒に学び、取り組んでいければますます発展していくのではないかと思います。また、企業変革支援プログラムは、毎年更新して自社の変化を把握するもので、ぜひ皆さんで毎年やっていきたい」と挨拶がありました。

## 新会員紹介

みうら たかし  
◇ 三浦 隆氏

(株)三浦建工  
代表取締役社長  
総合建設業  
山形支部

あおき まさよし  
◇ 青木 正芳氏

アクア(株)山形営業所  
統括本部長  
エレベーター・自動ドアメンテナンス  
山形支部

いがらし わたる  
◇ 五十嵐 渉氏

日新開発(株)  
代表取締役  
飲食業  
庄内支部・酒田地区

## 会員変更

●(株)丸高 代表取締役社長 高橋剛氏 ⇒ 代表取締役会長(庄内支部・酒田地区)

同友やまがた1月号 (2025年1月1日発行/通巻382号)



“知り合い、学び合い、援け合い”  
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201  
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304  
URL:https://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp